

3. 企画展示事業（平成25年度の展覧会）

（1）第61回企画展「珠玉の大津絵―町田市博×大津歴博コレクション」の結果について

- 〔会 期〕 平成25年7月26日(土)～9月1日(日) [開館日数38日間]
- 〔会 場〕 大津市歴史博物館 企画展示室A
- 〔観覧料〕 一般800円(640円) 高大生400円(320円) 小中生無料
- 〔主 催〕 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・町田市立博物館・京都新聞社
- 〔後 援〕 NHK 大津放送局・びわ湖放送・エフエム滋賀
- 〔展示作品〕 大津市歴史博物館所蔵品 20点、大津市歴史博物館受託品 44点
町田市立博物館所蔵品 49点、展示パネル 53点
- 〔入館者数〕 4,487人
◇有料観覧者 2,567人
個人1,584人+50人(身障者・介護者)+272人(高齢者) 団体661人
◇その他観覧者 1,920人
小中生(無料)235人、歴博カード会員230人、招待1,455人
- 〔関連講座〕 7月27日(土) 合羽摺りで大津絵を描こう
講師：日本大津絵文化協会 参加人数 26人
8月3日(土) 大津絵師 その伝統・技・心
講師：高橋松山(大津絵師 四代目松山) 参加人数 141人
8月10日(土) 対談：大津絵と趣味表具の世界
講師：岡泰央(株岡墨光堂代表取締役)・横谷賢一郎 参加人数 85人
- 〔図録販売数〕 「大津絵の世界」(再版)649冊(2月末)
「大津絵」(町田市立博物館販売分)200冊

〔成 果〕

大津絵コレクションとしては、日本民芸館に次ぐ規模を誇る町田市立博物館ですが、これまで、まとまった公開の機会は、町田市博でもあまりありませんでした。この度、当館からの申し出によって、町田市博との共催による企画展を実現することができ、優品が多い町田市博の大津絵コレクションの全貌を、初めて大津および関西の地で紹介することができました。また、町田市博へ巡回した本展は、NHKの日曜美術館でも紹介され、関東一円から来館者が訪れる成果を上げました。当初、町田市博で頒布した100冊の大津絵図録も完売し、さらに追加頒布した100冊もすぐに完売する状況でした。そのため、当館への電話注文が相次ぐ結果となりました。以上の点から、首都圏における大津絵の認知度は、展覧会開催前と比較するとかなり向上したものと思われます。

なお、2館の共催による展覧会であったところから、事務手続き等の連絡で、今後の課題を残しました。

〔備 考〕 町田市立博物館へ巡回した大津絵展

- 開館40周年記念「大津絵大図解」
- 会 期 平成25年12月14日(土)～同26年2月11日(火・祝)
- 主 催 町田市立博物館、大津市歴史博物館
- 入館者 2,365人

〔アンケート結果〕

- ・ 二館合同となると、かゆいところに手が届く充実ぶりで、結構でした。(64歳)
- ・ 解説が充実していて興味深かったです。絵として上手いとは思いませんでしたが、近世庶民の生活エネルギーのようなものが感じられました。(29歳)
- ・ こんなに一度の大津絵を見たのは初めてでよかった。私も大津絵を習っていましたが、もう少し多くの画題があるはずです。
- ・ 個人の方にも呼びかけて、古大津絵の新しい作品が見られる企画があれば、うれしく思います。
- ・ よい絵が集められていて、圧巻です。素朴な絵がやはり良いです。町田から来た絵の軸装のセンス良く、見ごたえがありました。(42歳)
- ・ 大津絵についての基礎的な説明が、最初に欲しい。展示を見ていて、二枚刷、一枚刷、道歌といった意味がわからなかった。(54歳)
- ・ 作品を大切にするため照明を暗くするのもよいが、年齢が増すにつれ説明の文字が読みにくいので、もう少し大きい字で書いてもらいたい。(63歳)